

## (研究実施に関する掲示ポスター)

2008年1月1日から2018年11月31日までに強度近視外来を受診された患者さんへ

### 研究協力をお願い

(研究課題名・承認番号)

病的近視患者の画像データを用いた人工知能モデルの開発 (承認番号：M2018-261)

(研究目的)

強度近視は全世界で約30%の有病率であり、アジア地域では80～90%の人が罹患していると考えられています。病的近視とは主に強度近視に伴い様々な眼底病変を発症している状態であり、日本において失明原因の第四位を占めています。

近年では人工知能が著しく発展し、自然言語処理や画像データの解析などに広く応用されています。2018年に米食品医薬品局(FDA)が糖尿病網膜症を検出する人工知能(AI)を用いたデバイスを初めて医療機器として承認したと発表し、医療分野での人工知能の活用も大いに期待されています。本研究は病的近視を検出する人工知能を構築し、その早期診断や予防及び治療の一助となることを目的としております。

(研究内容)

2008年1月1日から2018年11月31日までに強度近視外来を受診された患者さんで、病的近視眼の方が対象となります。眼底写真と光干渉断層計のデータを診療録から収集し(後ろ向き調査)、株式会社 システム計画研究所/ISP と共に病的近視を診断する人工知能システムを構築します。

個人を特定出来るようなお名前・住所といった情報は一切公表いたしません。また、研究結果の発表時にも個人情報を使用いたしません。研究対象者となる方に新たに費用が生じたり、診療上の不利益が起こることは決してありません。なお謝礼はございません。研究結果をもとにより良い診療及び治療に役立ててまいります。

以上の趣旨をご理解いただき、是非この研究にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本研究への参加をご希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせまでお申し出下さい。お申し出後には収集したデータは破棄します。また本研究への参加をご希望されない場合でも今後の診療に不利益を被ることは決してありません。

本研究は実施責任者である大野京子宛の寄付金(番号1450・主任研究者：大野京子；株式会社システム計画研究所/ISP 研究責任者：石塚寛之)を用いて行いますが、研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する

る申告を行い、同委員会による確認を受けています。また、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図って参ります。

(研究期間)

医学部倫理審査委員会承認後から 2024 年 12 月 31 日まで

試料・情報の管理の責任者：大野京子

(研究についての内容、問い合わせ等の連絡先)

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学医学部附属病院 眼科 実施責任者 大野京子

電話 03-5803-5302 (対応可能時間帯 平日 9:00～17:00)

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛

電話 03-5803-5096 (対応可能時間帯 平日 9:00～17:00)